

インターンシップ生の受け入れを考えておられる企業・団体の皆様へ

大学コンソーシアム京都

インターンシップ・プログラム ご案内



公益
財団
法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

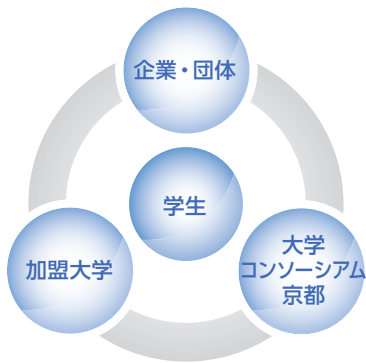
公益財団法人大学コンソーシアム京都

公益財団法人大学コンソーシアム京都は、大学と地域社会及び産業界との協力による大学教育改善のための調査研究、情報発信交流、社会人教育に関する企画調整事業等を行い、これらを通じて大学と地域社会及び産業界の連携を強めるとともに大学相互の結びつきを深め、教育研究のさらなる向上とその成果の地域社会・産業界への還元を図る趣意で、設立した団体です。現在は約50の大学・短期大学に加え、地方自治体・経済団体も参画する全国最大規模の大学コンソーシアム組織に発展しています。

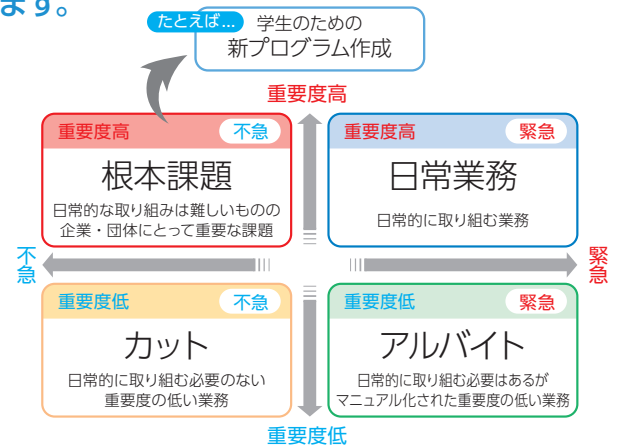
大学コンソーシアム京都では、その時々の変化や大学・短期大学、学生や市民の皆様のニーズに対応しつつ、「大学のまち京都・学生のまち京都」の発展を目指し、事業を推進しています。



大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラム 私たちは産官学地域連携のキャリア教育をめざしています。



大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムは、就職活動としてのインターンシップではなく、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした産官学地域が連携して行う教育プログラムとして、1998年度より全国に先駆けて開始しています。単なる就業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として、受講生からも高い満足度を得ています。



提供：三共精機株式会社 代表取締役社長 石川 武 様

その1：京都地域にある大学・短期大学の学生が参加

京都地域にある約50の大学・短期大学から、人文社会系・理工系・芸術系など多様な個性を持つ学生が参加しています。企業・行政機関・非営利組織(NPO・NGO等)の情報を幅広い範囲の学生に周知するとともに、様々な大学の学生と出会うことができます。



その2：大学教員によるコーディネート

加盟大学在籍の大学教員によるコーディネートで、学生の成長をトータルに支援します。実習の前後におこなう「事前・事後学習」では、教員がコーディネーターとして学生のサポートをします。ディスカッション等を通して実習の目的を明確にし、多様な実習先や学生の属性に対応した学習を実施します。この事前・事後学習により、より質の高い学生を受け入れることが可能となります。



その3：1998年から開始した豊富な実績

豊富な実績により、ここ数年は年間400名を超える学生、200を超える企業・団体が参加しています。この豊富な実績を生かし、京都地域の産官学地域連携のキャリア教育の向上をめざしています。





ビジネス・パブリックコース — 実践型 —

登録から実習終了までの流れ



実習プログラム事例

ビジネスコース (小売り)	ビジネスコース (マスコミ・広告・出版)	パブリックコース (行政)
1日目 事業内容紹介・プログラム説明	1日目 事業内容紹介・プログラム説明	1日目 事業内容紹介・プログラム説明
2日目 基本・ビジネスマナー研修 接客ロールプレイング	2日目 企画作成 (Webサイト特設ページ作成)	2日目 講座への参加(ビデオ撮影)
3,4日目 店舗実習(製造など内部)	3日目 企画作成、 企画プレゼンテーション準備	3日目 アンケート集計
5日目 特色のある店舗視察	4日目 企画プレゼンテーション 企画修正	4日目 研修会および イベントパンフレット発送作業
6-8日目 店舗実習(営業など外部)	5日目 企画修正、取材等の準備	5-10日目 会議資料作成補助 イベント資料作成補助
9日目 最終報告会準備	6日目 取材、文字起こし、校正	11日目 イベント参加、運営補助
10日目 最終報告会 振り返り面談	7日目 取材(予備)文字起こし、校正	12日目 会議運営補助
	8日目 ビジュアルイメージ作成	13-16日目 イベント掲示物作成
	9日目 最終成果物発表	17,18日目 イベント資料袋詰め イベントスタッフ名札作成 最終報告会・振り返り面談
	10日目 最終報告会 振り返り面談	

プロジェクト型 — プログレスコース —

登録から実習終了までの流れ

<p>12月～1月末</p> <p>プロジェクト実施 調査票の提出</p> <p>プログレスコースでの受け入れをお考えの場合は、事務局に連絡をお願いします。説明に伺います。</p>	<p>4月中旬</p> <p>学生対象 説明会・相談会</p> <p>プログレスコースに興味のある学生対象の説明会です。受入先ご担当者様に、プロジェクト活動のプレゼンテーションを行っていただき、その後、相談会を行います。</p>  	<p>5月中旬</p> <p>実習生の決定</p> <p>貴社・貴団体にて選考していただけます。</p>	<p>6月上旬～7月下旬</p> <p>協定書の締結</p> <p>受入先、大学、大学コンソーシアム京都で協定を結びます。</p>
<p>6月上旬</p> <p>プロジェクトの開始 計画・企画・実施・振り返り</p> <p>キャンパスプラザ京都で行われる講義に出席していただけます。 (プロジェクト期間中6回程度、木曜日18時から実施)</p>   	<p>11月中旬</p> <p>プロジェクト終了 成果報告会</p> <p>11月の土曜日に1日かけて各プロジェクトの成果のプレゼンテーションを行い交流します。必ず出席していただきます。</p> 	<p>11月中旬</p> <p>実習状況報告書 提出</p> <p>実習生の実習状況について評価をお願いします。</p>	<p>11月下旬</p> <p>振り返り会</p> <p>受入先ご担当者様・コーディネーターと一緒に会します。プログラムに対する意見等を伺います。</p>

実習プログラム事例

<p>6月</p>	<p>実習生にプロジェクトの課題を提示し、解決に向けての計画を話し合う。</p>
<p>7月</p>	<p>活動計画の完成。</p> <p>ワークシートを用いて計画を立てることで、スケジュールを共有するとともに、見える化しながら、活動の見通しを持ちます。</p> <p>計画を実行に移すための調査・アンケート・分析等を実施し企画する。</p> <p>「なぜこの企画をするのか」受入先の合意を得るための根拠が必要であることを学びます。その中で、調査・アンケート・分析等の必要性を学びます。</p>
<p>8月, 9月</p>	<p>企画会議・企画書の練り直し。企画の実施。</p> <p>計画通り進めることの難しさや臨機応変に変更したり対応していく柔軟性を学びます。また、活動計画を見直すことや、密な打ち合わせの重要性を学びます。そのためにも、週1回程度の打ち合わせを設定してください。</p>
<p>10月</p>	<p>プロジェクトの活動について振り返りを行い、評価方法を学ぶ。</p> <p>ワークシートを用いて、活動の振り返りをし、プロジェクトの妥当性、効果等を評価します。</p>
<p>11月</p>	<p>プロジェクトの活動成果を発表。</p> <p>振り返りの内容をもとに、プレゼンテーションについて学びます。</p>



大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラムのコースとは

ビジネス・パブリックコース — 実践型 —

原則7月下旬～9月中旬に、企業・行政機関・非営利組織(NPO・NGO等)において2週間(実働10日以上)～1ヶ月程度の実習を行うコースです。[事前学習]▶[実習]▶[事後学習]という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性や職業観を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指します。事前・事後学習では、ビジネスコースは業界・業種別に、パブリックコースは行政・非営利組織(NPO・NGO等)別にクラスを編成し、他大学の学生と共に、業界研究や実習経験交流、ディスカッション等を行います。

プログレスコース — プロジェクト型 —

6月中旬から11月下旬の5か月間、企業・行政機関・非営利組織(NPO・NGO等)が提示するテーマの課題やプロジェクトに取り組むコースです。プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることが目標です。受入先が実習生に提示したプロジェクトのテーマ(課題)に沿って成果重視の活動を行うプログラムです。



インターンシップ・プログラムでは、 教育プログラムとして以下のことをお願いしています。

インターンシップを教育活動の一環として位置づけ、受入れをすること。(採用活動の一環としての受入れはご遠慮ください。)

実働10日以上の実習が行えること。(受入期間は7月下旬～9月中旬を予定しております。)

事前に実習予定表(プログラム)を提出できること。

本財団で管理しているシステムに貴社・貴団体の「受入先基本情報」、「実習部署情報」を登録できること。

貴社・貴団体、実習生の所属大学、本財団との三者による協定書の取り交わしができること。

実習前に事前学習の一環として行われる、実習生による「事前訪問」(6月中旬から7月上旬)において実習内容の説明ができること。

実習期間中にコーディネーターもしくは本財団の職員が職場訪問(実習生への中間指導)する際の対応ができること。

実習中日々の振り返りの時間と実習日誌へのコメント記入をお願いします。

実習終了後、「実習評価報告書」及び「受入先担当者アンケート」を記入し、提出できること。

※その他、詳細については別途、「受入先ガイドブック」にてお知らせいたします。
プログレスコースをお考えの方は、別途条件がありますので、お問い合わせください。

プログラム修了後のアンケートから

学生

- ▶ 事前・事後学習があるから、きちんとした実習に向けての準備や振り返りができ、今後の学生生活における目標が出来た。
- ▶ プログラムに参加して、本当に希望の業種が本当に自分に合っているのか確認できた。
- ▶ 実習で、働くことや学んできたことについて自分に足りない部分があった。
- ▶ 講義、実習を終えて社会に一步ふみだした気がする。

大学

- ▶ 自分の大学では補えない教育プログラムの部分をお願いしている。
- ▶ 学生が成長して帰ってくる。
- ▶ 出来るだけ多くの学生にインターンシップを経験して欲しいと思っている。

コーディネーター

- ▶ 受講生の教育と受入先様双方に効果があるするプログラムを目指しています。
- ▶ 受入先から中間指導や事後アンケートの回答の中で、組織内の活性化や新視点の発見など高い評価をいただいております。

受入先

- ▶ 受け入れには、準備などの手間と時間がかかりますが、指導することにより社員の育成につながりました。
- ▶ 実習生の存在が、社内のスタッフに良い刺激となりました。
- ▶ 事前の指導がしっかりと行われているので学生の目的意識、マナーが大変良かったです。
- ▶ 学生の実態を知ることができ、採用活動に役に立ちました。
- ▶ 毎年色んな大学の学生が来て、新鮮な風をもたらしてくれます。



受入先のメリット

- ▶ 社内を活性化できる
- ▶ 新しいアイデアに出会うことができる
- ▶ 社会的な貢献ができる
- ▶ 大学等との連携を強化することができる
- ▶ 自社の根本課題に取り組むことができる
- ▶ 自社のPR/広報ができる
- ▶ 受入先間での情報交換ができる

加盟大学一覧

国立大学	京都大学	京都教育大学	京都工芸繊維大学	
公立大学	京都市立芸術大学	京都府立大学	京都府立医科大学	福知山公立大学
私立大学 ・短期大学	池坊短期大学 大谷大学 大谷大学短期大学部 京都医療科学大学 京都外国語大学 京都外国語短期大学 京都学園大学 京都華頂大学 華頂短期大学 京都看護大学 京都経済短期大学	京都光華女子大学 京都光華女子大学短期大学部 京都嵯峨芸術大学 京都嵯峨芸術大学短期大学部 京都産業大学 京都女子大学 京都精華大学 京都西山短期大学 京都聖母女子学院短期大学 京都造形芸術大学 京都橘大学	京都ノートルダム女子大学 京都美術工芸大学 京都文教大学 京都文教短期大学 京都薬科大学 種智院大学 成安造形大学 成美大学短期大学部 同志社大学 同志社女子大学 花園大学	佛教大学 平安女学院大学 平安女学院大学短期大学部 明治国際医療大学 立命館大学 龍谷大学 龍谷大学短期大学部 大阪医科大学 京都情報大学院大学 放送大学 京都学習センター (2016年11月現在)



公益 大学コンソーシアム京都
財団 法人 The Consortium of Universities in Kyoto

インターンシップ事業推進室 (受付: 火曜日~土曜日 9:00~17:00)
〒600-8216 京都市下区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都
TEL: (075) 353-9106 FAX: (075) 353-9101
E-mail: intern@consortium.or.jp
URL: http://www.consortium.or.jp/

大学コンソーシアム京都 検索

